鶴ヶ島市立障害者生活介護施設

指定管理者選定等委員会

審査報告書

平成30年9月

目次

1	施設概要	1
	(1) 名称	1
	(2) 所在地	1
	(3) 目的	1
	(4) 施設	1
	(5) 開館時間	1
	(6) 休館日	1
	(7) 利用料金	1
2	指定管理者の導入目的	1
3	指定管理者が行う業務	2
4	指定管理期間	2
5	応募団体	2
6	指定管理者選定等委員会委員(敬称略)	2
7	選定基準	2
8	選定経過	3
9	審査結果	4
	(1) 第1回指定管理者選定等委員会	4
	(2) 第2回指定管理者選定等委員会	4
	(3) 第3回指定管理者選定等委員会	4
10	指定管理者(候補)	5
	(1) 名称	5
	(2) 指定期間	5
	(3) 指定管理料	5
11	今後のスケジュール	5
12	総評	6
	参考	7

1 施設概要

(1) 名称

鶴ヶ島市立障害者生活介護施設（開設日：平成元年4月1日）

(2) 所在地

鶴ヶ島市大字三ツ木935番地1

(3) 目的

鶴ヶ島市立障害者生活介護施設は、障害者の日常生活を総合的に支援する法律（平成17年法律第123号。以下「法」という。）第5条第7項に規定する生活介護を提供し、在宅の常時介護を要する障害者の日常生活の充実及び社会参加の促進を図ることを目的とする。

(4) 施設

①形態

単独施設

②規模

敷地面積 3, 527. 56 m²（借地）

建築面積 534. 26 m²（鉄筋コンクリート造平屋建）

③機能

作業室、生活訓練室、静養室、食堂、医務室、相談室、その他同敷地内に倉庫棟、便所棟、車庫あり

(5) 開館時間

午前9時から午後4時まで

(6) 休館日

①日曜日及び土曜日、国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日

②1月2日、3日及び12月29日～12月31日まで

(7) 利用料金

①法第29条第1項に規定する特定費用の額

②法第29条第3項第2号に規定する政令で定める額の範囲内で指定管理者が定める額

2 指定管理者の導入目的

多様化する住民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、鶴ヶ島市立障害者生活介護施設の管理運営に民間の能力を活用し、市民サービスの向上や経費の節減等を図ることを目的とする。

3 指定管理者が行う業務

- (1) 生活介護施設の施設、設備及び物品の維持管理に関する業務
- (2) 在宅の常時介護を要する障害者の日常生活の充実及び社会参加の促進等に関する業務
- (3) 上記の他、生活介護施設の管理に関して市長が必要と認める業務

4 指定管理期間

平成31年4月1日から平成36年3月31日まで（5年間）

5 応募団体

社会福祉法人 鶴ヶ島市社会福祉協議会

6 指定管理者選定等委員会委員(敬称略)

職名	氏名	性別	摘要
委員長	有路 直樹	男	総合政策部長
副委員長	竹本 良明	男	識見者
委員	朝生 三郎	男	
	橋本 則雄	男	
	石島 洋志	男	総務部長
	新堀 敏男	男	健康福祉部長

7 選定基準

(団体概要)

- ・ 公の施設としての役割を適切に担うことができるか
- ・ 経営基盤は安定しているか
- ・ 個人情報の適切な取扱いを確保しているか

(事業内容)

- ・ 利用者（重度心身障害者）の精神的な安定を確保できるか。
- ・ 効果的な施設運営を実施できるか
- ・ 効果的な施設管理を実施できるか
- ・ 指定管理料は適正か

※審査基準（評価項目）については、別紙を参照。

8 選定経過

月日	内容
6月4日から6月22日 ※土曜日、日曜日を除く	募集要項配布
6月22日	現地説明会
6月25日から6月27日	質問書受付
7月3日	質問事項回答
7月4日から7月10日	申請書受付
8月22日	指定管理者選定等委員会委員委嘱・任命 第1回指定管理者選定等委員会 ・適格審査 ・ヒアリング審査項目、基準の検討 ・現地確認
8月27日	第2回指定管理者選定等委員会 ・応募団体ヒアリング
8月28日	第3回指定管理者選定等委員会 ・指定管理者（候補）の選定
9月	市長報告

9 審査結果

(1) 第1回指定管理者選定等委員会

応募団体の申請内容、応募資格について審査を行い、資格要件については、妥当と認められた。

(2) 第2回指定管理者選定等委員会

「指定管理者候補者審査表」に基づき、評価を行った。審査表の集計結果は以下のとおり。

【審査表集計結果】社会福祉法人 鶴ヶ島市社会福祉協議会

評価項目（配点）	採点（委員平均点）
I 公の施設としての役割を適切に担うことができるか（20）	14.3
II 経営基盤は安定しているか（20）	13.3
III 個人情報の適切な取扱いを確保しているか（10）	7.3
IV 利用者の精神的な安定を確保できるか（30）	21.0
V 効果的な施設運営を実施できるか（30）	21.0
VI 効果的な施設管理を実施できるか（30）	20.3
VII 指定管理料は適正か（20）	11.3
審査点数 （満点 160 点 選定標準点 96 点）	108.5

(3) 第3回指定管理者選定等委員会

「指定管理者候補者審査表」の集計をもとに、指定管理者（候補）を選定した。

10 指定管理者（候補）

(1) 名称

社会福祉法人 鶴ヶ島市社会福祉協議会

代表者：会長 成瀬 宥一

所在地：埼玉県鶴ヶ島市大字三ツ木16番地1

(2) 指定期間

平成31年4月1日から平成36年3月31日まで（5年間）

(3) 指定管理料

平成31年度	4,744,000円
平成32年度	5,539,000円
平成33年度	4,396,000円
平成34年度	5,689,000円
平成35年度	6,595,000円
合計	26,963,000円

11 今後のスケジュール

月日	内容
選定等委員会選定後	指定管理者（候補）の決定、応募者へ通知
12月中旬	平成30年第4回定例議会で指定管理者議案議決、指定管理者の指定（告示）、仮協定の締結
3月中旬	指定管理者と協定の締結
4月1日	指定管理業務の開始

1 2 総評

社会福祉法人 鶴ヶ島市社会福祉協議会は、鶴ヶ島市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的とする法人である。

公の施設としての役割

鶴ヶ島市社会福祉協議会は、当該施設の現在の指定管理者である「きいちごチーム」を構成する団体であり、公の施設を適切に管理、運営する実績を有していると評価できる。

経営基盤

提出された団体の運営、財務に関する書類から、経営基盤に問題はなく、安定的な施設管理運営を行うことができると見込まれる。

個人情報の適切な取扱い／効果的な施設管理

個人情報の扱い、緊急時の対応については、事象ごとに規定やマニュアルの運用、内部研修を実施するほか、有事の際には近隣類似施設と情報を共有し、連携して対応にあたることとしており、その体制は妥当と評価できる。

利用者の精神的な安定の確保／効果的な施設運営

職員研修や外部アドバイザーの招へいによる実務指導を実施し、職員の能力並びにサービスの質を向上させるとする点が評価できる。

過去の実績として、構造化支援を導入し、利用者の精神的安定に寄与している。引き続き、当該施設にふさわしい職員としての専門知識や指導力の向上に期待したい。

指定管理料

指定管理料は、5年間で26,963,000円、単年度あたり4,396,000円から6,595,000円であり、現状と比較し、コストの削減効果は小さい。

ただし、介護給付費収入の増加も合わせて計画されており、施設の自立的な運営に向けた取組として評価できる。

以上のことから、当該施設の設置目的を効果的に達成することが見込まれる。

当委員会として、以下2点の意見を付し、社会福祉法人 鶴ヶ島市社会福祉協議会を指定管理者（候補）として選定する。

附帯意見

- 1 施設運営の透明性を向上させるため、内部通報制度を整備し、運用されたい。
- 2 自主事業として挙げられた日中一時支援事業について、協議、整理されたい。

参考

鶴ヶ島市指定管理者候補者審査表（障害者生活介護施設）

団体名：社会福祉法人 鶴ヶ島市社会福祉協議会

委員名： _____

ヒアリング実施日：平成30年8月27日

審査基準（評価項目）		得点					判断材料	
		A	B	C	D	E		
団体概要	I 公の施設としての役割を適切に担うことができるか（20点）							
	1 施設管理運営に対し意欲が感じられるか	10	8	6	4	2	事業計画書	オ I (1)
	2 同種の施設管理運営の実績があるか	10	8	6	4	2	団体概要書	ウ (オ) 事業報告書
	II 経営基盤は安定しているか（20点）							
	3 施設管理運営を安定して行う経営基盤を有しているか	10	8	6	4	2	団体概要書	ウ (オ) 決算報告書
	4 施設の維持及びサービスを提供するための職員体制が確立され、職員研修を実施できるか	10	8	6	4	2	事業計画書	オ II 2(1)～(4)
	III 個人情報の適切な取扱いを確保しているか（10点）							
	5 個人情報の適切な取扱いを確保できるか	10	8	6	4	2	事業計画書	オ II 3
	IV 利用者の精神的な安定を確保できるか（30点）							
	6 現在雇用され、相応しい知識・経験を有する職員を継続雇用する仕組みがあるか	10	8	6	4	2	事業計画書	オ I (3)
7 利用者一人ひとりに寄り添った支援体制がとれるか	10	8	6	4	2	事業計画書	オ I (3)	
8 利用者の満足度を高めるための自己点検及び自己評価の仕組みは適切か	10	8	6	4	2	事業計画書	オ I (4)	
V 効果的な施設運営を実施できるか（30点）								
9 施設の現状分析を行い、設置目的を達成し、サービスの質の向上が図られるか	10	8	6	4	2	事業計画書	オ I (5)	
10 利用者意見、要望等を把握、共有し、市への報告や運営の改善につなげる工夫があるか	10	8	6	4	2	事業計画書	オ I (2)	
11 施設運営の自立促進に向けた取組は評価できるか	10	8	6	4	2	事業計画書	オ II 7(1)	
VI 効果的な施設管理を実施できるか（30点）								
12 防災・防犯・事故防止策の体制が整備されているか	10	8	8	4	2	事業計画書	オ II 4(1)(3)(4)	
13 緊急時対応の体制が整備されているか	10	8	8	4	2	事業計画書	オ II 4(2)	
14 施設の衛生管理は適正であるか	10	8	8	4	2	事業計画書	オ II 4(5)	
VII 指定管理料は適正か（20点）								
15 費用は削減できるか	10	8	8	4	2	事業計画書	オ II 5	
16 事業計画と収支計画の整合がとれているか	10	8	8	4	2	事業計画書	オ II 6	

審査点数	/160
------	------